

## 環境文化の聞き書き事業に参加した屋久島高等学校1年生の皆さんの感想

## episode.01 石ノミで切り出す硯石

## 矢野泰祐

私たちは、今回の取り組みで、石ノミから切り出す、硯石について学びました。私たちが習字をするときに使う硯石の作り方や石の選び方、その石の特徴などを学びました。最近ではあまり硯を使う機会はないですが、このような伝統文化は、これからも、残していくべきものなので、私たちが次の世代に引き継いでずっと残り続けるものになってほしいと思いました。

## 宮脇優月

取材時には、質問をする係を担当しましたが、全然うまくいきませんでした。質問がはっきりしていなかったり、声が小さかったりなど、とてもよくしゃべったです。この経験も何かに活かされたいと思います。原稿作成は、声が聞きとりにくかったり、雑音がすごかったり、とても難しかったです。期間もあいていたのでみんなで思い出したり、文字を削ったりなどとても難しかったです。でも、とてもいい経験になったと思いました。

## episode.03 無農薬の白川茶園

## 上村結愛

私たちの班は志戸戸の白川茶園に行かせてもらいました。白川さんのお話をたくさん聞いてお茶も何種類か飲ませてもらって、とてもいい経験になりました。そして、学校で原稿を作成しました。私は書き起こしではなく、文章をまとめる作業をしました。できるだけ分かりやすく重要な部分をピックアップしたり、白川さんの話し方などをそのまま使って硬すぎない文章にするのを頑張りました。取材も原稿作成もあまりすることがないので、良い経験になったと思います。

## 濱崎 裕

私は取材には行く事ができなかったで、書き起こしを頑張りました。録音を聞きながら、聞こえない所や分からない屋久島の言葉があったりしたので、音量を大きくしたり、親に聞いてもらって、なんとか文字に表すことができました。書き起こしを1人でしたことでもかなり時間はかかりましたが、お茶作りの大切な事や苦労などを聞き逃さずしっかりと理解できたので、良い経験になったと思います。

## episode.05 屋久島の伝統のお菓子よもぎかん

## 竹之内飛竜

今回の聞き書き事業でたくさんさんの経験をしました。お店で直接取材するという、すごく貴重な経験をして、初めは、少し不安はありましたが、自分なりに、案内出来たと思います。すごく楽しい体験ができました。ありがとうございました。

## 牧 航人

僕は、取材は今回が初めてで、とても緊張しました。友達と質問を考えた時、実際に取材してみるととても楽しく良い経験ができました。これからはこの経験を活かしていきたいです。

## episode.02 正月飾りと鬼火焚き

## 谷 優月

正月飾りと鬼火焚きについてお話を聞きました。私はどちらも経験したことのないものだったので、色んな話を聞いて良かったです。鬼火焚きはどのようにして鬼を燃やすのか、正月飾りとは一体どういうものなのかを知ることができました。

## 岩川 零

正月飾りと鬼火焚きについてお話を聞きました。私たちは取材時にいくつか質問をし、取材後、学校で書き起こしをしました。書き起こしをしながら取材時のことを振り返りました。私は取材でメモを取る係だったので、あまり役に立ちませんでした。今回のことで、もっと役に立つようなメモをとろうと思いました。長井様のお話では知らなかったことを知ることができました。

## episode.04 一漬のサバは全部使える

## 芝原青空

私は今回の話を聞いて、サバ節の魅力を知ることができました。特に印象に残っている話は「廃棄物は無く、どこかで役に立っている」という話です。サバ節に使えない頭や尾は家畜のえさになり、燃やしてできる灰は肥料として使われるなど、丸勝さんは実際に行っていることを分ることができた。原稿作成については、とても無駄なものは何も無い、と知ることができました。

## 仲宗根怜生

録音を聞きながら普段から使っているパソコンを打ちましたが、かなり時間がたって、時々聞こえない所や分からない言葉などがあっての音量を大きくしたりして文字に表すことができました。取材をしてみて、サバ節を作る大変さや苦労などを知ることができました。

## episode.06 吉田の岳参りと瀬風呂

## 柴 悠里

今回私は、岳参り、瀬風呂についてのお話を聞きました。こんなに身近な所に住んでいてもまだまだ知らないことはたくさんあると感じました。瀬風呂は体の傷やけがを治すだけでなく、心にも良い影響があるというお話がとても印象に残っています。この2つのような伝統がこれからもずっと残ってほしいと思いました。私たちが作ったこの文章もたくさんの方に読んでもらって、伝統が伝わってほしいと思います。

## 山路未玲

近間さんに吉田のトンボレと岳参りのことについて取材をしました。トンボレの話聞いて今でも使用しているのを知り、長年に渡り続いている屋久島ならではの伝統文化に驚きました。自分が住んでいる集落のことですぐ知らないことが多かったです。書き起こしの際には、吉田集落の方言を元に戻すのがとても難しかったです。

## episode.07 地域活性を目指したシイタケ生産

## 迫間和翔

自分は今回の聞き書き授業で取材に行くことができなかったで、学校でレポートをまとめる係をしました。この係になって書き起こしの大変さを知ることができました。レコードには、虫の音や風の音など取材相手の声以外にもたくさん音が聴こえる中で、一言一句抜かさずに書き起こさないといけないという大変ハードな係でしたが、思っていた以上に楽しくすることができました。また、機会があれば経験してみたいと思います。

## 貴船 梗

私たちは今回のことを通して、取材の仕方や文の作り方など多くの事を学ぶことができました。特に適切な文を作る事がとても大変でした。文の構成は変ではないか、名前や場所は間違いないか、などとても大変でした。ですが最終的にはとてもいい物ができたと思います。取材のときは自分が知らない事がたくさんありました。自分は今回の聞き書きに参加できてとてもよかったです。

## episode.09 トビウオ漁に迫る

## 岩川翔也

話し手の重久さんの印象はとても優しくて丁寧な人だった。トビウオ漁の苦労や大変だったことをテーマに取材をした。取材までの間に事前の調査、メールでのやり取り、カメラ録音機やメモなどの準備を行った。取材に向けて心掛けたことは、話し手の方へ失礼がないように心掛け協力をしたこと。取材時の感想は、自分たちが知らないことが多くあり知識が深まった。話し手の方の人生や現場の経験談が聞いて感動する話もあった。漁で使用している道具なども見せてもらって技術のすごさを知ることができた。原稿作成については、とにかく打ち込み作業で取材よりも大変だったけど、仲間と協力して一つにまとめて完成させた時の達成感はずごかった。貴重な体験だった。

## 日高 源

自分たちは、トビウオ漁について取材しました。道具を使うのかやトビウオの値段、歴史などを質問しました。最初はどのくらいか分からないで大変だったけど、取材をしていくうちに慣れていきました。取材中は相手に失礼のないように心掛けていました。みんなと協力して書き起こしやそれをまとめる作業や取材は、とても楽しかったです。

## episode.11 途絶えた文化の復活「黒糖作り」

## 鹿島天志

聞き書きを体験してみて、記事を作るということはこんなにも大変なんだなと思いました。なかでも話し手の話をボイスレコーダーで記録して、それを文字に書き起こす作業が大変でした。話し手の印象は明るく元気な人だなと感じました。話の中で、伝統を継承していくことの大切さと継承することの難しさを感じました。取材は上手にいききましたが、質問をするのが下手だったので、それが心残りです。取材時にサトウキビを初めてかじってみました。甘くて美味しかったです。良い思い出になりました。

## 池田道入

最初は何をしらいいか分からなかったけど仲間の人に聞いたりして準備をスムーズにすることができた。取材は担当の人の話が分かりやすくて、まとめる作業も少し難しかったけど、みんなでできて良かったと思う。

## episode.08 屋久杉の未来

## 日高亜優

今回の聞き書き事業を通して、屋久島に住んでいるのに屋久島について知らないということが分かりました。語り手の方はとても詳しく丁寧に教えてくださり、深く知ることができました。ふだんの生活をしているときはあまり気にしない伐採のことや、加工品のことを知ると屋久島はやはりすごい島なのだ改めて感じました。原稿を作る上で、文章の書き方の難しさも感じました。

## 鹿島暖祈

私は今回の活動を通して、取材を終えたあとの原稿作成に、対し、情報をまとめる難しさを感じました。私はあまり文章を作成したり、自分の思ったことや考えを言葉として表現するのが得意ではないので、自分で得た情報を言葉で表すのが難しかったです。取材は自分の班のテーマが屋久杉に関する内容だったので、屋久杉のことだけではなく、それを商売として自分の生活を成り立たせている方の立場の話も聞くことができました。自分の父が同じように杉を使って自営業をしていることもあり、聞いた憶えがあるようなことも話の中にあって、改めてコロナによる影響についても考えることができました。

## episode.10 地元に愛され続ける尾之間温泉

## 白井麻央

尾之間温泉をテーマに管理者の方と尾之間の区長さんに取材させていただきました。尾之間温泉特有のリラックス効果や癒やし、また、敷石としても使われている玉石は尾之間浜から区民総出で運ばれ、その協力あってこそ温泉であるという言葉に心まで温まりました。温泉を利用する方々のための意見箱を設置し、毎朝早くから準備をされ、楽しく「尾之間の誇りです」と話される姿や利用される地元の方々の笑顔を実際に見ることで、私たち屋久島生も、屋久島に住んでいる者としてとても嬉しく感じました。地元の温かさを知ることができた貴重な体験でした。

## 森 優羽

今回の取材を通して、私は、これまでは知らなかったことや、改めて理解が深まったことが多くあり、とても勉強になりました。話し手の方は、私たちに分かりやすく説明をしてくださり、充実した時間となりました。また、取材をする上で、貴重な時間を頂いている事に感謝しながら、私たちは1つ1つの疑問を解決していき、新たな知恵を得たりすることができました。取材を終え、ふり返ってみると、印象に残る様々なことがあります。まず、取材先での多くの方々の新しい出会いがあったということです。町の方々は、笑顔で優しく取材に答えていき、とても幸せな時間でした。また、これまで知らなかった「屋久島」の歴史や「温泉」の歴史を学ぶことができたことです。とても興味深く、今後より深くみたいな感じました。今回、「聞き書き事業」において、沢山の事を知り、感じる事ができ、とても良い経験ができました。

## episode.12 ヤクタネゴヨウは天然木

## 大門 踏

僕は今回の話を聞いて、屋久島の環境についてこまごま考えていらっしやるのかと思いました。自分の中で鹿や猿は屋久島のシンボルとなるのでどれだけ増えてもいいと思っていましたが、杉などの屋久島の固有の植物を守るために駆除していかないといけないと知りました。杉はたくさん天敵がいる中で1,000年や5,000年も生きていることがとても驚きで、厳しい自然の中で強く生きていることに感動しました。まだまだ屋久島の自然を知ることが出来ていないので今回の取材を通して、より興味を持ちたいと思いました。ありがとうございました。

## 田原琉愛

僕は今回のヤクタネゴヨウについての取材をして多くのことを知ることができました。まず、取材の前には、グループのみんなが質問の内容を考え、そしてそれを全部聞くことができて良かったです。取材の中で一番印象に残ったことは、実際に、ヤクタネゴヨウと普通のマツを触って比べて見て、ヤクタネゴヨウは名前の通り葉が5本に枝分かれしていて驚きました。取材を終えてからは、みんなで役割りを分担してまとめることができ、原稿の作成の仕方などを学ぶことができてとてもいい経験になりました。ありがとうございました！